



労働者団体と経営者団体が一緒に「働く」を考えた!

皆さんこんにちは!今年の夏も暑いですね…(^^);
今号は6月20日に開かれた『長野県商工会女性部連合会と連合長野男女平等参画推進委員会との意見交換会』の様子をお届けします。

まずはじめに商工会女性部の小松会長は、子育てや介護に追われる女性の現状に触れつつ、少しでも生きやすい社会に近づくためのヒントを得たいと話され、連合長野の山口委員長からは、団体の女性比率を30%、将来的には50%にしたいと語られました。講演では当会議所の塚田副会頭が講師を務め、「女性活躍社会に向けて」をテーマに、自身の挑戦と地域での実践例を紹介するとともに、これまでのNAGANO働く女性会議の活動等について触れ「まずは行動を!」と呼びかけました。また、グループディスカッションでは、固定観念の見直しや、働き方の柔軟化、声を上げる勇気の大切さなど多くの学びを共有し、立場を超えて語り合う場が、新たな気づきとつながりを生みだし、「働きやすく住みやすい長野」に向かって大きな一歩となりました。

グループディスカッション要約

- * 家事・育児の負担や職場の役割を男女で公平にするには声を上げることが大切
- * アンコンシャスバイアスをなくし、女性も多様な職種や管理職に挑戦できる環境が必要
- * 時短勤務や休暇の取りやすさなど制度と雰囲気づくりの両方が課題
- * フレックスや在宅勤務を遠慮なく使える職場にするには普段の話し合いが重要
- * 悩みを共有し、積極的に自分から行動することが鍵

連合長野参加者の声

- 「社会を変えるには一人ひとりの積極的な行動が大切だと感じた」
- 「経営者や県の方の話を聞き、新たな気付きがあった」
- 「男女で一緒に話すことで、男女平等の理解が深まると感じた」
- 「色々な職種の意見が聞けて、職場に戻って共有したい」

商工会参加者の声

- 「逆の立場から社員への心くばりを考えさせられた」
- 「団体と企業間での意見交換は初めてで良い時間だった」
- 「色々な年代の体験談を聞いて、自分の考え方を変えられる気持ちになった」
- 「男女平等について世の中が自然とそうなるようアップデートしていきたい」



長野県で働く人の職場アンケート!

最後に、アンケートのお願いです。9月22日(月)に「信州働くみんなの座談会」を開催します。この座談会に先立ち、長野県で働く皆さんが日々感じている悩みや課題、職場の実態等を把握し、会社が抱える課題を見える化するとともに改善に向けたアクションにつなげるべく、東京海上グループの「ウェルビーイングナビ」を活用したアンケートを実施することにしました。匿名のアンケートであり本回答により個人が特定されることはございませんので、是非とも回答をお願いします。なお当日ご参加が叶わない方も広くご協力をいただけますと幸いです。アンケートの結果を「信州働くみんなの座談会」で発表しますので、お楽しみに!

こちらのサイトから



【締め切り】
8/22(金)

～ウェルビーイングナビ～
※匿名回答可